

小学校生活科
1 単元について

東濃地区 (0小学校)

対象学年	小学校 第2学年
学習指導要領	第1学年及び第2学年の内容 (3)(4)
単元名	「町となかよし」1 (全14時間)
単元目標	<p>公共施設や公共物、地域の人々について、聞いたり、調べたりすることを通して興味・関心をもち、進んでかかわろうとしている。</p> <p>(生活への関心・意欲・態度)</p> <p>公共施設や公共物、地域の人々について、調べたり体験したりすることを通して、安全に利用することや適切にかかわることを考え、それを表現することができる。</p> <p>(活動や体験についての思考・表現)</p> <p>公共施設や公共物を利用すると生活が豊かになることやそれを支えている地域の人々がいることに気付くことができる。</p> <p>(身近な環境や自分についての気付き)</p>
配慮事項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 単元指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元指導目標と評価規準を明確にし、「指導と評価の計画」を作成することで児童の具体的な姿をイメージしながら、単元全体を見通す。また、基礎的・基本的な内容が確実に定着するように、公共施設の見学・体験活動を精選する。 ・ 校区内に公共施設が少ないため、3年生の社会科の学習内容を考慮しながら、2年生の子どもの生活に関係が深い公共施設を選択する。 ・ 学習過程の中で様々な表現活動を体験できるように、ペア・グループ・学級全体と内容に応じて学習形態の工夫の配慮をする。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の見学や家庭での聞き取り学習以外は、一単位時間の中で話し合い活動を中心に活動することが多い。従って、時間の終了時には振り返りカードを活用し、簡単な自己評価を継続することで子どもの気付きを深める手立ての一つとしたいとする。 <p>教師の指導・援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の普段の生活や夏休みにおける公共施設の利用の様子を把握し、単元の導入で活用することで児童の意欲化を図る。 ・ 家庭での聞き取り学習を設定するため、事前に「生活科だより」や学年通信により授業のねらいや内容を理解していただき、家庭での協力が得られるように依頼しておく。 ・ 本単元の学習を次単元にもつなげるために、探検マップを活用し常に子どもが地域のよさを見つけるように、教師が配慮して指導に当たる。
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学ノート ・ たんけんたい(ひみつ)カード ・ 自己評価カード ・ 聞き取り学習用プリント

2 単元の評価規準

【学習指導要領の内容】(3)「地域と生活」

自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみを持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

【学習指導要領の内容】(4)「公共物や公共施設の利用」

公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができる。

	ア生活への関心・意欲・態度	イ活動や体験についての思考・表現	ウ身近な環境や自分についての気付き
内容ごとのまとめと評価規準(3)	地域の人々や様々な場所に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げようとしている。	地域の人々や様々な場所と適切にかかわることや、安全に生活することについて考え、それを表現することができる。	自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわりをもっていることが分かっている。
内容ごとのまとめと評価規準(4)	公共物や公共施設を大切に利用しようとしている。	公共物や公共施設の利用の仕方について考えたり、工夫したりして、安全に気を付けて正しく利用することができる。	公共物や公共施設はみんなのものであることや、それを支えている人々がいることが分かっている。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家庭や地域の人々がかかわっている公共施設などに目を向け、関心をもって利用しようとしている。 ・公共施設で働く人やそれを利用する人と親しみをもってかかわろうとしている。 ・公共物や公共施設に関心を持ち、みんなのことを考えて、大切に利用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共物や公共施設の利用の仕方について考えたり、工夫したりすることができる。 ・地域の人々や様々な場所、公共施設などと適切にかかわったり、安全に正しく利用したりすることができる。また、分かったことを絵や文章で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちは、地域の人々や様々な場所とかかわりあって生活していることが分かっている。 ・公共物や公共施設を利用すると、自分たちの生活が豊かになることに気付いている。 ・公共物や公共施設を支える人々がいることが分かっている。

<p>活動の内容における評価規準</p>	<p>夏休み中の生活を振り返り、自然・人・地域とのかかわりに興味をもっている。</p> <p>自分たちの身近な公共物や公共施設に関心を持ち、知っていることを発表しようとしている。</p> <p>自分の調べる公共施設で働く方の話を聞き、施設やそこで働く人について関心をもって話を聞こうとしている。</p> <p>出会った人に挨拶をしたり、公共施設で働く人やそれを利用している人に話しかけたりして、人々に進んでかかわろうとしている。</p> <p>自分の調べた公共施設について分かったことを意欲的に伝えようとしている。</p>	<p>地域の人々や様々な場所とかかわった夏休みの思い出を、ミニカードを使って表現することができる。</p> <p>自分たちの身近な公共物や公共施設で調べたいことを自分なりに考えることができる。</p> <p>みんなで使うもの・場所では、マナーやルールを考えて利用することができる。</p> <p>公共施設を利用したこと、調べたこと、体験したことで伝えたいことをはっきりさせ、その施設のよさを表現することができる。</p> <p>お世話になった公共施設の人々に、分かったことやお礼のお手紙を書くことができる。</p>	<p>友だちの発表や自分の家庭での聞き取り学習から、自分たちの生活には公共物や公共施設がかかわっていることが分かっている。</p> <p>見学のマナーや地域の人々や働いている方への挨拶などの約束が分かっている。</p> <p>公共施設を身近に感じ、利用すると楽しく、みんなのために役に立っていることが分かっている。</p> <p>公共施設には、それを支えている人々がいることに気付いている。</p> <p>公共物や公共施設を利用すると、自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付いている。</p>
----------------------	---	---	--

3 指導と評価の計画（全14時間）

時	ねらい (記号)：10の視点	学 習 活 動	評価規準と評価方法	指導・援助
1	夏休みの生活を振り返り、夏休みの生活について、進んで話したり聞いたりすることができる。 (オ)	<p>1 夏休みの生活作文より、自分自身の夏休みの生活について振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">夏休みの生活の思い出をみんなに話して聞き合おう。</div> <p>2 自分の夏休みの生活について発表する。 3 自分と比べながら、友達の発表を聞く。 4 振り返りカードを書く中で、次時に夏休みの町の様子について考える。</p>	<p>夏休み中の生活を振り返り、自然・人・地域とのかかわりに興味をもっている。</p> <p><アー > (行動観察・発表の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしそうに話をしている。 ・自信をもって話をしている。 ・友だちにわかるように詳しく話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの「あのねノート」の中で、自然とかかわった話、人とかかわった話、地域での活動などの話を提示する。 ・思い出の発表を進めながら、地域での活動に方向付けをしていく。 ・それぞれ夏休みの町の様子(地域でのこと)で次時カードに書くことができるか、振り返りカードで確かめながら、助言する。
2 3	自分の住んでいる夏の町の様子を夏休みの自分の生活を通して思い出し、ミニカードを使い、表現することができる。 (イ・オ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">夏の町の様子をミニカードに書き、みんなに紹介しよう。</div> <p>1 夏の町の様子をミニカードに書く。 2 ミニカードを使い友だちに紹介できるように個人・ペアで交流する。 3 内容ごとのグループで順に、夏の町の様子を紹介する。 4 公共物や公共施設について目を向ける。 5 振り返りカードで自分の学習を振り返る。</p>	<p>地域の人々や様々な場所とかかわった夏休みの思い出を、ミニカードを使って表現することができる。</p> <p><イー > (ミニカード作成の様子・紹介の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい夏の思い出が伝わるよう表現している。 ・地域の人々とかかわりについて表現している。 ・様々な場所とかかわりについて表現している。 ・発見した町の様子を表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に『探検マップ』に貼ったミニカードを思い出させ、ミニカード書きに入る。『探検マップ』はいつでも見られるよう、教室に常時掲示し環境構成に配慮する。 ・紹介が終わった後に、『探検マップ』にミニカードを随時貼っていくことで、夏の町の様子を位置的にも理解できるよう手助けをする。 ・公共施設にかかわった紹介を授業の終末に取り上げ、次時につなぐ。また、家庭での聞き取り学習を行い、家庭と公共施設のかかわりを調べておく。

4	<p>自分の知っている身近な公共物や公共施設について、聞き取りカードを利用して意欲的に教え合い、それぞれの家庭との身近な公共施設のかかわりに気付くことができる。</p> <p>(ウ)</p>	<p>1 自分の身近な公共物や公共施設を思い出す。 2 家での聞き取りカードを見て、教えてもらったことを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">『みんなで使うところ』のことを教え合おう。</div> <p>3 自分の体験や家の人に教えてもらったことで身近な公共物や公共施設について発表する。 4 友だちの発表を自分で調べてきたことと比べながら聞く。 5 いくつか出てきた身近な公共物や公共施設より、2年生として見学・体験する場所を選ぶ。 6 振り返りカードを書く。</p>	<p>自分たちの身近な公共物や公共施設に関心を持ち、知っていることを発表しようとしている。</p> <p><アー> (発表の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の知っている公共施設で体験したことについて、楽しそうに話している。 身近な公共物や公共施設のことを得意そうに話している。 <p>友だちの発表や自分の家庭での聞き取り学習から、自分たちの生活には公共物や公共施設がかかわっていることが分かる。</p> <p><ウー> (振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで使う場所や物があることが分かる。 知らなかった公共物や公共施設について知る。 どの家でも公共物や公共施設を利用することが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に夏休みに「子どもフェスタ」や恵那市図書館、児童館、夏休み子ども講座に参加した子を調べ、話ができるように指導しておく。 前時からの引き続きで家庭に聞き取りカードを持ち帰らせ、調べ学習ができるようにしておく。 家庭での聞き取りを自分の言葉で話せるように声かけをする。
5	<p>グループで相談し選んだ公共施設で、自分なりに知りたいこと・調べてみたいことを考えたり、グループ交流をしたりする活動を通して、見学・体験場所に対して調べたいことをもつことができる。</p> <p>(オ)</p>	<p>1 前時を振り返りながら、4つの公共施設を出し合う。 2 グループで相談して、自分たちが見学する身近な公共物や公共施設を決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">グループで見学する場所で、知りたいこと・調べてみたいことを考えよう。</div> <p>3 自分で知りたいこと・調べてみたいことをカードに書く。 4 グループでカードの内容を発表し、交流し合う。 5 グループの友だちの考えを聞いて他に知りたいこと・調べてみたいことはないか考える。 6 振り返りカードを書く。</p>	<p>自分たちの身近な公共物や公共施設で調べてみたいことを自分なりに考えることができる。</p> <p><イー> (カードの内容・グループ交流の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体験などから考える。 友だちの話から考える。 自分の知らないことに興味をもって考えている。 グループ交流から考える。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで相談して見学場所が決められるようリーダーに指示する。(場所がいくつにも分かれたときは、それぞれ見学したい訳を出し合うなど方法を教える。) 自分だけの力では、調べたいことが考えられない子は、グループ交流の後に友だちの考えを聞いてから、考えさせる。 「探検隊」になって、施設を調べる、という意欲をもたせる。また自分が見学したいところにならなかつた児童については、振り返りカードで確認し、「探検隊」に教えてもらおう、と声を掛ける。

6	<p>それぞれの施設から届いたビデオレターを自分の調べたいこと・知りたいことを整理させ、興味・関心をもって聞くことを通して、体験・見学に行く施設の様子を知ったり、期待をもったりすることができる。</p> <p>(イ)</p>	<p>1 見学・体験学習に出かける施設についてどんなことが調べたいか・知りたいか出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなが行く施設の方から、その施設や働く人について教えてもらおう。</p> </div> <p>2 ビデオレターを視聴する。 3 話から分かったことや新たに知りたいことを出し合う。 4 前時のカードにつけたしを書く。 5 見学・体験時にもっと知りたいこと・調べてみたいことを交流する。</p>	<p>自分の調べる公共施設で働く方の話を聞き、施設やそこで働く人について、関心をもって話を聞こうとしている。</p> <p><アー> (話を聞く様子・振り返りカード) ・話を真剣に聞こうとしている。 ・公共施設を利用するにはマナーがあり、それを守ろうとしている。 ・働く人に会うことや見学・体験学習を楽しみにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年で4つに分かれ、それぞれの施設のビデオレターを視聴する。(当日、担任以外が担当する施設は、実際に引率してもらう教師に見てもらう。) ・事前に、各施設でビデオレターを撮らせてもらい(施設で働く人の自己紹介・施設の利用でうれしいこと・困っていることなど)お話にかえる。次の活動のきっかけになるように配慮する。
7	<p>今までの経験や前時のビデオレターを思い出しながら、今度の見学・体験を成功させるための約束を考える活動を通して見学のマナーに気付くことができる。</p> <p>(イ・ウ)</p>	<p>1 2年生全員が行く公共施設について確認する。 2 「探検隊」~こんなことを調べてくるよ。~を発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>見学の約束を考えよう。</p> </div> <p>3 見学の約束・マナーを考える。(約束をメモしよう。) 4 先生のお話を聞く。</p>	<p>見学のマナーや地域の人々や働いている方への挨拶などの約束が分かっている。</p> <p><ウー> (発表の様子・振り返りカード) ・挨拶を進んですることが分かる。 ・見学のマナー(公共施設の使い方・他の人に迷惑を掛けない、話は静かに聞くなど)が分かる。 ・安全に気をつけて見学することが分かる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のように、見学・体験学習別の4つに分かれ、学習する。 ・ビデオレターを思い出し、施設で働く人の話は、のがさないようにする。 ・見学の約束やマナーについては、今までの経験から必要と思われることは、自分たちで考えさせ出させるようにする。 ・グループで1つインスタントカメラを持たせるので、その使い方や約束も確認し、グループで順番等を相談させる。
8 9 10	<p>第二小2年生「探検隊」になって、選んだ施設の見学・体験学習する活動を通して、施設の役割や仕事、働いている人々ことを意欲的に調べることができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第二小2年生「探検隊」になって、自分たちの選んだ施設のことを調べよう。</p> </div> <p>1 それぞれの施設で、代表者が挨拶をする。 2 施設の人のお話を聞いたり、見学</p>	<p>出会った人に挨拶をしたり、公共施設で働く人やそれを利用している人に話しかけたりして、人々に進んでかかわろうとしている。</p> <p><アー> (見学の様子・振り返りカード) ・自分から大きな声で挨拶をしている。 ・見学の中で自分から質問をしている。 ・その施設で人とかかわりながらする活動に真剣</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる見学だけに終わらないように、それぞれの施設にお願いして、何か活動を入れてもらえるようにする。その時の人とのかわりを大切にできるよう声かけをしながら援助する。 ・校区外の公共施設なので、

	(イ・ウ)	<p>をしたりする。</p> <p>3 施設ごとに特徴のある活動をさせてもらう。</p> <p>4 大切なことをノートに書く。</p> <p>5 質問をさせてもらったり、もう一度見せてもらいたいところを見る。(グループ活動)</p> <p>6 見学終了の挨拶をする。</p>	<p>に取り組む。</p> <p>みんなで使うもの・場所では、マナーやルールを考えて利用することができる。</p> <p><イー> (見学の様子・振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶ができる。 ・静かに話が聞ける。 ・施設を大切に利用する。 	<p>事前にバスの手配しておく。(バスの乗り方も事前に指導しておく。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年体制で見学をするため、引率の教師にこの時間のねらい・評価について・留意点など事前に打ち合わせをしておく。 ・評価方法の見学の様子は、担任だけでは無理なので、事前に担当の教師にどうしても見てもらいたい児童を抽出し、様子を見てもらう。
11 本時	<p>見学してきた施設で調べたこと、利用して思ったこと、分かったことなどの中で伝えたいことをはっきりさせるを通して、他の友だちが行ってみたいくなるように自分が見学した施設や人についてのよさや気付いたことをわかりやすく表現することができる。</p> <p>(オ)</p>	<p>1 見てきたこと、調べてきたことで他の友だちに伝えたいことを出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友だちが行ってみたいくなるように、 のひみつを宣伝しよう。</p> </div> <p>2 カードで発表できるようにカード記入をする。</p> <p>3 発表で使う写真を選んで、練習する。</p> <p>4 グループで聞き合う、見せ合う。</p> <p>5 今日の学習を振り返る。</p>	<p>公共施設を利用したこと、調べたこと、体験したことで伝えたいことをはっきりさせ、その施設や人のよさをわかりやすく表現することができる。</p> <p><イー> (カード記入の様子・カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で伝えたいことを決めて書くことができる。 ・自分の体験を通した感動が書くことができる。 ・自分で見たり、聞いたり、調べたりしたことが書くことができる。 ・施設での人々とのふれあいを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書での整理の観点は「人とかかわり・楽しかった・びっくりしたよ・ためになるよ」とする。 ・公共施設でお話をしていた人、働いている人の写真を提示し、施設で働いている人を意識させる。 ・自己決定できない児童への支援 あらかじめ予想できる児童は、見学ノートを事前に見て、朱筆を入れておき、机間指導で声かけをする。
12	<p>グループごとに見学した身近な公共施設について伝えたいことをはっきりさせ、意欲的に発表し、それぞれの調べた公共施設を身近に感じこれらを利用すると楽しくて、役に立つこ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>探検隊から、 のひみつを見つけよう。</p> </div> <p>1 見学した施設ごとに、写真などを使いながら、探検隊として話をする。</p> <p>2 もっと知りたいことを、その探検隊に伝える。</p>	<p>自分で調べた公共施設について分かったことを意欲的に伝えようとしている。</p> <p><アー> (発表の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって話している。 ・みんなに聞こえる大きな声で話している。 ・絵をうまく利用している。 <p>公共施設を身近に感じ、利用すると楽しく、みんなのために役に立っていることが分かる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の学習から人の前で話すことに自信のない子、苦手な子など気になる児童はカードで事前に話の内容を確かめ、練習中から声をかけておく。 ・自分たちが調べていないこと・分からないことを聞かれた場合どうするか

	とに気付くことができる。 (オ)	3それぞれのグループごとに詳しく教えてあげることは何か知る。 4今日の授業を振り返る。	<ウー > (振り返りカード) ・公共施設に親しみを感じている。 ・公共施設の便利さ・よさが分かっている。 ・自分も行ってみたいと思っている。 ・家族で利用しようと思っている。	その場で考えさせる。聞きに行く・手紙で聞く・電話で聞くなど方法を考えさせ、質問に答えられるように援助する。
13	公共施設の見学・探検隊の話振り返り、それぞれの施設のよさを出し合うこと通して、公共施設はそこで働く人々が施設を支えていることに気付くことができる。 (イ)	1それぞれの施設のよさを出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">で働く さんのよさを見つけよう。</div> 2課題について考えを出し合う。 3 施設の方からのお手紙を紹介する。 4感想を交流する。 5今日の授業を振り返る。	公共施設には、それを支えている人々がいることに気付いている。 <ウー > (発表の内容・振り返りカード) ・施設設備以外に施設で働いている人の存在が分かっている。 ・施設で働いている人がたくさんの仕事をしていることに気付いている。 ・施設で働いている人々は、優しい対応をしてくださることが分かっている。	・前時の活動を思い出させながら、「それぞれの施設」のよさを思い出させ、そこで働く人に注目し、その立場で考えさせ、考えを深めさせる。 ・公共施設で働いている方にお願いをして、普段どんなことに気をつけて仕事をしているか、その方の願いを手紙にして書いていただいおく。
14	今までの学習を振り返り、地域の中の公共物や公共施設のことを思い出し、それぞれの施設の人々に手紙を書く活動を通して、公共施設についてのよさを確かめたり、働く人への親しみをもったりすることができる。 (オ)	1自分の探検隊カード・お話カードを振り返ってみる。 2家庭での公共施設の利用について教師から話をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">お世話になったところへ、お手紙を書こう。</div> 3じっくり考えて手紙を書く。 4数名の手紙を紹介する。 5振り返りカードを書く	お世話になった公共施設の人々に、分かったことやお礼の手紙を書くことができる。 <イー > (それぞれの施設宛のお手紙) ・公共施設のよさを書くことができる。 ・公共施設の仕事を書くことができる。 ・施設で働く人々の仕事について気持ちを考えて、書くことができる。 公共物や公共施設を利用すると、自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付いている。 <ウー > (振り返りカード) ・公共施設の便利さやよさが分かる。 ・また公共施設に行ってみたいと感じている。 ・今後の自分の生活に役立てようとしている。	・事前に家庭に協力を依頼して、公共施設や公共物を使ってよかった体験を話してもらい、授業の中で取り上げていく。 ・前時の終末に、どんな手紙を書くかを確認しておく。また、個人的に書けないと予想される子は、事前に個別で見学のカードを見ながら確認し、自信をもって書くことができるようにする。

4 単位時間の展開例

(1) 本時のねらい 見学してきた施設で調べたこと、利用して思ったこと、分かったことなどの中で伝えたいことをはっきりさせることを通して、他の友だちが行ってみたいくなるように自分が見学した施設や人についてのよさや気付いたことをわかりやすく表現することができる。

(2) 本時の位置 11 / 14時

(3) 展開案

過程	学習活動	評価規準と評価方法について ・評価の視点 () 評価方法	指導・援助
<p>つかむ</p> <p>活動する</p> <p>振り返る</p>	<p>1 調べたことや見たこと、体験したことで思ったことや分かったことなど他の友だちに伝えたいことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センターの暖房機は大きかったよ。 ・市の図書館は、本がたくさんあってよかったよ。 ・中公民館の鈴木さんに を教えてもらったよ。 ・児童センターでは、 が楽しかったよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友だちが行ってみたいくなるように、 のひみつを宣伝しよう。</p> </div> <p>2 カードに伝えたいことをいくつか記入をする。</p> <p><市立図書館の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん本があったよ。 ・森岡さんに本を読んでもらったよ。 ・本の探し方がわかったよ。 <p>3 グループで伝えたいことを交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん本があったことを言うよ。 ・わたしは本探しクイズのことが、図書館の中のことを話すか迷っているよ。 ・読み聞かせが楽しかったことを話したいよ。 <p>4 伝えたいことを決めて、焦点化してカードに内容を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・びっくりしたよ。 ・分かったよ ・たくさん本があった。 ・コンピュータで探せるよ。 <p>(内容) 恵那市立図書館は、大井第二小より、たくさん本があって、びっくりしました。……</p> <p>5 今日の学習を振り返る。</p>	<p>公共施設を利用したこと、調べたこと、体験したことで伝えたいことをはっきりさせ、その施設や人のよさを表現することができる。</p> <p><イー ></p> <p>(カード記入の様子・カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で伝えたいことを決めて書くことができる。 「公民館は、サークル活動をやったり講座を開いたりしています。」 「図書館はカードを作れば誰でも本が借りられます。」 ・自分の体験を通した感動を書くことができる。 「文化センターの冷暖房の機械はすごく大きいです。」 「公民館で七宝焼きをやらせてもらいました。楽しかったです。」 ・自分で見たり、聞いたり、調べたりしたことを書くことができる。 「文化センターの大ホールは 920 も席があります。」 「福祉センターの中に児童センターや生きがいデイサービスがありました。」 ・施設での人々とのふれあいが書くことができる。 「生きがいデイサービスのおばあさんたちと手遊びをして楽しかったです。」 「図書館の森岡さんに読み聞かせをしてもらってうれしかったです。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時にグループごとに撮影してきた写真や保護者のサポーターの方に撮影していただいた写真を見せ、施設・働く人々など見学時を思い出すために活用する。 ・見学に行っていない友だちにも、自分たちが見学した施設のことや働く人々のことを教えてあげたいことを出させ課題につなげる。 ・伝えたいことを「うれしかった・楽しかったよ、びっくりしたよ・分かったよ、ためになるよ」の3観点で整理し、板書に位置付ける。 ・何を伝えたいか、自己決定をさせるためにカードの一部を記入する。 ・自己決定できない児童への支援 あらかじめ予想できる児童は、見学ノートを事前に見て、朱筆を入れておき、机間指導で声かけをする。その場で決定できずに困っている児童は、見学の施設の写真を見せ見学を思い出させながら、見学ノートをもう一度見させる。 ・どうしても伝えたいことが決まらない児童は、グループ交流の後に決定させるようにする。 ・話す内容が記入できたら、グループ内で行ってみたいくなるような内容か聞き合いアドバイスし合う。また、写真を使って練習するよう助言する。 ・カード記入の時、行きたくなるようなひみつがよく分かる児童を数名紹介する。

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時のねらい(11時/14時)

見学してきた施設で調べたこと、利用して思ったこと、分かったことなどの中で伝えたいことをはっきりさせることを通して、他の友だちが行ってみたいくなるように自分が見学した施設や人についてのよさや気付いたことをわかりやすく表現することができる。

(2) 評価規準

活動や体験についての思考・表現(イ -)

- ・公共施設を利用したこと、調べたこと、体験したことで伝えたいことをはっきりさせ、その施設や人のよさをわかりやすく表現することができる。

(3) 評価方法

- ・カード記入の様子
- ・カード

(4) 評価の視点と具体的な子どもの姿(カードの記入内容)

ア) 自分で伝えたいことを決めて書くことができる。

- ・公民館は、サークル活動をやったり、講座を開いたりしています。
- ・図書館は、カードを作れば誰でも本が借りられるよ。

イ) 自分の体験を通じた感動を書くことができる。

- ・文化センターの冷暖房の機械は、すごく大きいよ。
- ・公民館で七宝焼きをやらせてもらったよ。

ウ) 自分で見たり、聞いたり、調べたりしたことが書くことができる。

- ・文化センターの大ホールは、920も席があるんだよ。
- ・福祉センターの中に児童センターや生きがいデイサービスがありました。

エ) 施設での人々のふれあいを書くことができる。

- ・生きがいデイサービスのおばあさんたちと手遊びをして楽しかったよ。
- ・図書館の森岡さんに、本の読み聞かせをしてもらってうれしかったです。

(5) 評価規準の実現のための事前・事後の具体的な指導・援助

事前

公共施設で働く人々の写真掲示

- ・公共施設で働く人々を思い出すために

見学ノートを事前に見て、朱筆(見つけたことを賞賛する意図で)を入れておく。

- ・自分で伝えたいことを決めて書けないとあらかじめ予想できる児童への支援 (参考資料A)

授業中

「たんけんたい(ひみつ)カード」の使用

- ・見学を思い出したり、宣伝することを絞り込んだりする (参考資料B)

公共施設の写真の提示

- ・見学の様子を思い起こすために

*引き出す「どんなところに見学に行ったか思い出せますか？」

*提示「あー、 だ。」

伝えたいことを「(うれしかったよ・楽しかったよ)(びっくりしたよ・分かったよ)(ために

なるよ)」の3観点で板書を整理する。

- ・自分の感動が表現できるように
- * 共感する、方向付ける「 が分かったんだね。」「図書館でびっくりしたよねえ。」
- * 引き出す、価値付ける「学校と比べてどうだった?」「初めて知ったよね。」
「本を並べると学校から まであるくらいあるって教えてもらってびっくりしたよ。」

見学ノートの使用

- ・自分の見学で分かったことを振り返るため
- * 意欲付ける、方向付ける「ここがよく調べてあるね。」「このことはどこに書いてあった?」

見学した施設の写真の提示

- ・その場で決定できずに困っている児童への支援として
- * 意識化「 君の行った の様子をもう一度見てみる?」

グループ交流の実施

- ・交流をすることで、見学の分かったことを広めるため
- * 問い返し「さっき考えていた宣伝はやめたの。」
「グループの子と同じだったから、他の宣伝に変えたよ。」

グループ交流の後の声かけ

- ・どうしても決定できない児童への支援
- * 引き出す「友だちの宣伝を聞いてどうだった? 思い出せたかな。」
- * 価値付ける「すごい、ここまで書けたね。もう、書けそうだね。」

事後

自己評価カードの使用

- ・自分の学習に対する取り組みを振り返るため (参考資料C)

もっと知りたいことを分かるようにするための手立ての例示と援助

- ・知りたいことをお手紙に書いて届ける、おうちの人と公共施設を訪ねるなど。

時間内に発表練習ができなかった子どもへの声かけ・練習の援助

- ・次時につなげるために、進捗を確かめ、励ましの声をかける。また、練習を指導する。

単元を通しての事後指導を意識した帰りの会

- ・お話ノートなど、公共施設に関することが出てきた子どもたちに広めていく。

(6)「おおむね満足できる」状況(B)を実現するための個に応じた指導・援助事例

事例1：前時までの学習から、「おおむね満足できる」状況(B)を実現することが困難だろうと思
われる児童 ~ A男~

<前時までの学習の様子から予想できるA男の反応>

- ・見学に対して、固定的な見方しかできない。なんとかいろいろなメモができた。しかし、迷ってしまっていて、自己決定ができない。

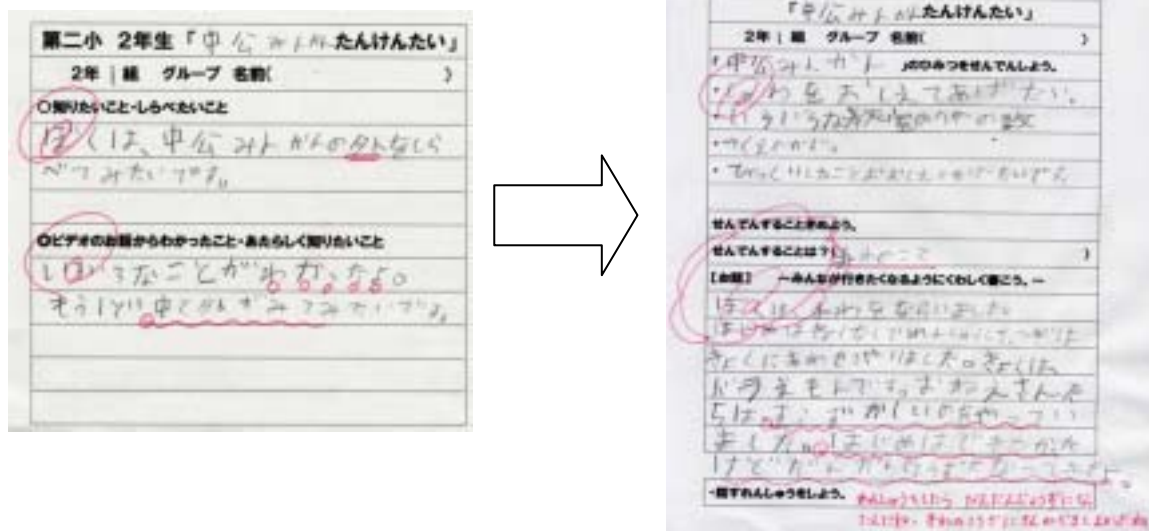
固定的な考え方をしていたA男に対して、たくさんのメモができたことを賞賛し、自信をもたせた。また、その見学ノートを振り返り、A男の感動したことに共感し、宣伝することをA男に自己決定させた。

教師の
指導・援助

「たくさんのひみつがつけられたね。すごいね。」
「このノートから、宣伝することを考えようね。」
「手話をやらせてもらったの。よかったね。」

- ・たくさんの見学メモの中から、自分が伝えたいこと（人とのふれあい）や体験を通して感動したことを書くことができた。
- ・伝えたいことを挙手して全体の前で話すことができた。

「おおむね満足できる」状況（B）と判断



事例2：前時までの学習（欠席など）から、「おおむね満足できる」状況（B）に達するかどうかかわからない児童
～ B男～

< 前時までの学習の様子から予想できるB男の反応 >

- ・単元導入時に病気で欠席して、見学の計画を立てることができなかった。転校生であり、公共施設など地域のことに両親や本人が詳しくない。よって、図書館に対して関心をもってみんなに宣伝できない。

元気になって登校してから、時間をとり個別指導する。その際、転入前の地域の公共施設についての話を聞き、実態を把握する。ビデオレターから、知りたいことが出てきたことに共感し自信をもたせた。見学担当の先生に励ましの声を掛けてもらう。

教師の
指導・援助

「図書館のことで何か調べてみたいことはある？」
「でも図書館に行ったことはあった？」
「このこと、先生も知りたいよ。」

- ・少ないメモの中から「ひみつのせんでん」を書き出すことができた。
- ・グループ交流を通して、図書館として宣伝するといいいことが考えることができた。

「おおむね満足できる」状況（B）と判断

小 2年生 「	たんけんたい」
2年 組 グループ 名前()
知りたいこと・しらべたいこと	
ビデオのお話からわかったこと・あたらしく知りたいこと	

見学・体けんでわかったこと思ったことを書こう。	

<参考資料B>

「	たんけんたい」
2年 組	グループ 名前()
「	」のひみつをせんでんしよう。
・	
・	
・	
・	
せんでんすることきめよう。	
せんでんすることは？()	
【お話】	～みんなが行きたくなるようにくわしく書こう。～

・話すれんしゅうをしよう。

<参考資料C>

町となかよし1	名前()
・自分のなつ休みの生かつがはっぴょうできた。()	
・友だちのはっぴょうを自分とくらべて聞いた。()	
みんなの話を聞いて思ったこと	
なつ休みの町のこと()	

町となかよし1	名前()
・なつの町のようにすがミニカードに書けた。()	
・カードをつかって、みんなにわかるように話せた。()	
自分で話したことやみんなの話を聞いて思ったこと	

町となかよし1	名前()
・みんなでつかうところのことがはっぴょうできた。()	
・みんなでつかうところのことがわかった。()	

町となかよし1	名前()
・自分のしらべてみたいことが考えられた。()	
・グループの子の考えを自分とくらべて聞いた。()	
きょうのべんきょうをやって思ったこと	

町となかよし1	名前()
・ビデオをしんけんに見ることができた。()	
・自分が行くところではたらく人やそのようすがわかった。()	
ビデオの話を聞いて思ったこと	

町となかよし1	名前()
・ほかのグループのしらべてくることがわかった。()	
・見学のやくそくやマナーを考えることができた。()	

町となかよし1	名前()
・自分からすすんであいさつできた。()	
・しずかに話を聞き、じょうずに体けんができた。()	
見学・体けんに行って思ったこと	

町となかよし1	名前()
・友だちにおしえてあげることがきまった。()	
・ひみつがせんでんできるように話を考えた。()	
きょうのべんきょうをやって思ったこと	

<参考資料D>

2年生 生活科 「町となかよし」 聞き取り学習

自分で聞いて書こう

年 組()

おうちの方へ

身近な公共施設を利用したとき（現在利用中も可）のことを教えてください。どんな時に、どこを、どのように利用されましたか？また、利用されてどうでしたか？（いくつかあれば教えていただけるだけお願いします。）

今まで、公共施設を利用してよかった・本当に助かる・現在もとても必要としているなどのお話があったら、ぜひ教えてください。

ご協力ありがとうございました。